

英語活動における教材としての英語絵本

—言語への気づきを中心に—

後呂 直輝

はじめに

本研究は、教材の一つとして英語絵本について、これを用いた英語活動の授業における言語や文化についての学習の際の、児童による自国と他国の言語に対する「気づき」に着目して、論じる。岩手県盛岡市内の二つの小学校で実施された二つの授業実践について、認知的 SLA 理論を援用して、子どもの発話から目標言語の input を辿り、言語の認知過程の一つである noticing(気づき)を分析した。分析の視点としては、Ellis 他が述べる絵本の価値、Hall の述べる読み聞かせ指導段階論、長谷川の述べる教材の機能の三つに依拠した。

1. 先行研究

1.1 絵本の読み聞かせの価値

絵本の読み聞かせの価値について所説ある中で、Ellis, G. & J, Brewster. ら (1991) は、以下のように述べている。

- ・授業でストーリーを聞くのは社会的な経験である。ストーリーテリングは、笑い、悲しみ、興奮、楽しい期待という共通の反応を引き起こし、自信の構築に役立ち、社会的、情緒的な成長を促す。
 - ・ストーリーを聞くことによって教師は、子どもたちの思考を豊かにし、次第に彼ら自身も使うようになっていく表現に浸らせながら語彙や文構造の導入や復讐を行うことができる。
 - ・ストーリーを聞くことは、子どもたちが言葉のリズム、イントネーション、発音を知るのに役立つ。
- (p. 238)

1.2 認知的第2言語習得における言語習得の過程

村野井他 (2001) は、認知的第2言語習得 (second language acquisition、以下、認知的 SLA)に照らして言語習得の過程における「気づき」について述べている。認知的 SLA とは、第2言語がどのような過程を経て習得されるのか、その認知メカニズムについて解明しようとする学説である。図1は、インプットの気づき、理解、内在化、統合などの認知プロセスが連続することによりアウトプットが可能になるという情報処理型のモデルを示す。インプットがあっても、そ

れに気づかなければアウトプットにつながらず、気づきはインプットを言語習得に導くプロセスの最初のステップとなっている。

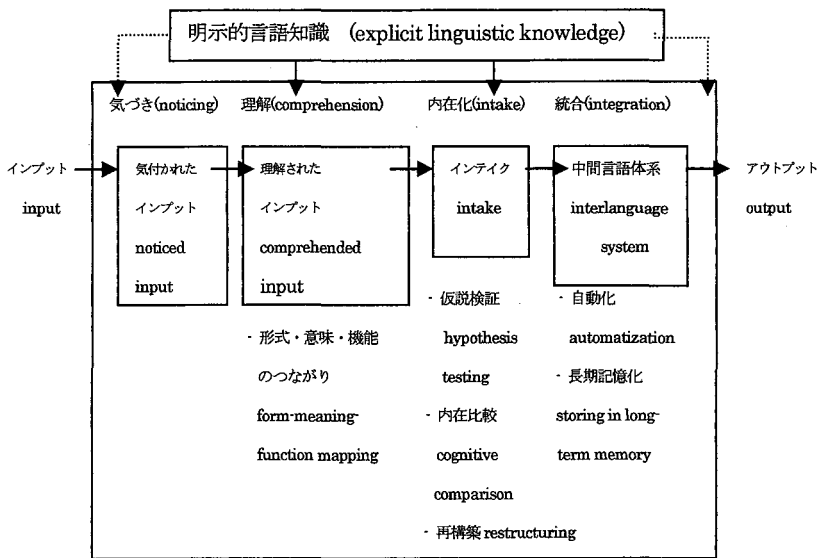


図1 第2言語習得の認知プロセス

* Ellis 1994, 1997, Gass 1997, Skehan 1998 に村野井が修正を加えたもの (2001) (村野井他 2001, p.45)

1.3 英語絵本の読み聞かせ

Hallによれば、読み聞かせの指導は、次の三つの部分から構成するのが基本である(2009)。Pre-storytelling, storytelling, post-storytellingである。今回分析対象にする pre-storytelling の目的は、読み聞かせされる物語に対する子どもの興味を刺激することである。また、読み手は子どもに物語を聞く理由や、物語を聞きたいという切実な思いを与えるという、読み聞かせ活動の成否を分ける重要な役割を担っている。

1.4 教材の機能

長谷川 (2010) は、教材の機能は、教師の意図と子どもの学ぶことから説明できると述べ、教材の機能の一般的な捉え方として、下記の4つを挙げている。

- ①学習の動機づけや意欲喚起の機能
- ②直観やイメージを引き起こす機能
- ③理解の機能
- ④練習や応用の機能

2. 研究課題

- ①絵本を用いた授業における言語に対する気づきは、読み聞かせ(言語,動き)と絵がセットとなった input を与えられたときになされる。
- ②pre-storytelling において学習が意味世界へといざなわれたとき、storytelling での「言語に対する気づき」が生じる。
- ③教師が英語絵本に持たせた機能が異なると、絵本を用いた授業における言語に対する気づきも異なる。

3. 研究方法

平成 22 年度岩手県内で開催された CMCP (Collaborative Model Curriculum Developing Project) 研修会(実施主体:岩手大学、連携:盛岡市教育委員会)における実験授業のうち 2 授業を対象とした。その内容は表 1 に示すとおりである。

表 1 分析対象

項目	授業 A	授業 B
日時	平成 22 年 11 月	平成 22 年 11 月
児童	5 年生 41 人	6 年生 27 人
場所	A 小学校	B 小学校
教師	T1 (小学校教諭) T2 (小学校教諭) T3 (中学校英語教諭) T4 (中学校英語教諭)	T1 (小学校教諭) T2 (小学校教諭) T3 (中学校英語教諭) T4 (中学校英語教諭)
絵本	"Hats!"	"I'd Really Like to Eat A Child"
授業立案の動機	『英語ノート』の LESSON5 を教える予定。LESSON5 では、色や洋服について扱われているので、その前にその内容に興味をもたせたくて、この絵本を使うことにした。	『英語ノート』の LESSON 9 「ランチ・メニューを作ろう」を指導する時期。この課の指導項目は、丁寧表現であり、この指導項目と絵本の文章の文法事項が合致していたため、この絵本を使うことにした。
到達目標	絵本を楽しんでほしい。絵本のメッセージを受け取ってほしい。	絵本にある文法項目「丁寧な表現」を習得してほしい。

CMCP は小学校教員と中学校英語科教員を対象とした小・中学校連携による協働的研修プログラム開発プロジェクトである。授業 A と授業 B は、このプロジェ

クトに参加した教師たちの二つのグループがA小学校とB小学校で実践したものである。データとしては、授業見学・授業研究会への参加による観察記録と授業を撮影したビデオを文字起こしした記録を用いた。

4. 分析結果

4.1 input の与え方

A 小学校の授業記録から、「教師による input →児童の反応」という組み合わせを抽出した。児童の反応（発話）が 15 例見られた。反応はすべて日本語だったことから、input の後 noticing（気づき）があったが、intake / integration と続かず英語の output とはならなかったと思われる。しかし、内容的につながっているので、input の後 noticing →comprehension というプロセスは経ていると考えられる。児童の発話を導いた input を調べると、すべて読み聞かせと絵の提示が同時になされていた（表 2）。

表 2 A 小学校における児童の発話と input

No	児童の発話	児童の発話を引き出した input	
		言語	視覚要素
1	君の帽子は、いい帽子じゃないか。	Cool hat! (T3→T2) Hey, guys! Cool hat! (T4→T2 & T3) Oh, nice hat! (T4→T3) Your hat is nice! Very pretty! (T3→T4)	A monitor picture Paper hats A play (T3→T2) (T3→T4) (T4→T3) (T4→T2, T3)
2	君の帽子はいい帽子じゃないか。君もいっしょにサッカーしよう。	Cool hat! (T3→T2) Hey, guys! Cool hat! (T4→T2, T3) Oh, nice hat! (T4→T3) Your hat is nice! Very pretty! (T4→T3) Let's play soccer. (T3→T2)	A monitor picture Paper hats A play (T3→T2) (T4→T3) (T3→T2) (T4→T2, T3)
3	君にその帽子とってもし合ってるよ。	Cool hat! (T3→T2) Oh, nice hat! (T4→T3) Your hat is nice! Very pretty! (T3→T4)	A monitor picture Paper hats A play (T3→T2) (T3→T4) (T4→T3)
4	僕はその帽子を気に入っているよ。黄色	I really like... this hat (T2) I like the red and blue colors (T2)	A monitor picture Paper hats

	い帽子もかっこいいんじゃないの。	I like the pink and red colors. (T3) Cool hat! (T3→T2) I like this orange and yellow hat(T3)	A play (T2) (T3) (T4) (T3→T2)
5	僕たちはこの帽子が気に入っているし、君の帽子もかっこいいから、いっしょに遊ぼうよ。	I really like... this hat (T2) I like the red and blue colors(T2) I like the pink and red colors. (T3) Cool hat! (T3→T2) Let's play soccer. (T3→T2)	A monitor picture Paper hats A play (T2) (T3) (T3→T2)
6	君の帽子も似合っているよ。一緒に遊ぼうよ	Your hat is nice! Very pretty! (T3→T4) Let's play soccer. (T3→T2)	A monitor picture Paper hats A play(T3→T2) (T3→T4)
7	あの人の帽子も変なのよね	Hey! That's not a good hat. (T1→T2) Hey! Ugly hats! (T1→T2 ,3 ,4)	A monitor picture Paper hats A play.(T1→T2) (T1→T2, 3, 4)
8	ひどいよね	Hey! That's not a good hat. (T1→T2) You don't like my hat? (T2→T1) He doesn't like my hat. Good bye my hat. (T2) Hey! Ugly hats! (T1→T2 ,3 ,4) He doesn't like our hats.(T2)	A monitor picture Paper hats A play(T2) (T1→T2) (T2→T1) (T1→T2, 3, 4)
9	初めは、からかっていた (中略) 最後には、三人の、あの、その帽子がいいねって言われて	Hey! That's not a good hat. (T1→T2) Hum! (T1) Hey! Ugly hats! (T1→T2,3,4) Good hat! (T2, 3, 4→T1)	A monitor picture Paper hats A play(T1) (T1→T2) (T2, 3, 4→T1) (T1→T2, 3, 4)
10	三人に帽子のことの悪口を言っていた	Hey! That's not a good hat. (T1→T2) Hum! (T1) Hey! Ugly hats! (T1→T2, 3, 4)	A monitor picture Paper hats A play(T1) (T1→T2) (T1→T2, 3, 4)
11	最初は三人をからかっていた人が、さい	Hey! That's not a good hat. (T1→T2) Hum! (T1)	A monitor picture Paper hats

	ごに、その帽子似合 ってるよみたいなの を言っ	Hey! Ugly hats! (T1→T2, 3, 4) Good hat! (T2, 3, 4→T1)	A play(T1) (T1→T2) (T2, 3, 4→T1) (T1→T2, 3, 4)
12	最初はからかってい た子が、最後にはそ の帽子をほめられて	Hey! That's not a good hat. (T1→T2) Hum! (T1) Hey! Ugly hats! (T1→T2, 3, 4) Good hat! (T2, 3, 4→T1)	A monitor picture Paper hats A play(T1) (T1→T2) (T2, 3, 4→T1) (T1→T2, 3, 4)
13	最初は三人をからか って、悪いと言っ ていた人が、最後には、 三人の帽子をほめて くれて	Hey! That's not a good hat. (T1→T2) Hum! (T1) Hey! Ugly hats! (T1→T2, 3, 4) Your hat is very good. (T1→T2) Your hat is very nice! (T1→T3) Your hat is very beautiful! (T1→T4)	Monitor picture Paper hats A play (T1) (T1→T2) (T1→T3) (T1→T4) (T1→T2, 3, 4)
14	自分たちの帽子を変 だと言われていたの に、	Hey! That's not a good hat. (T1→T2) Hey! Ugly hats! (T1→T2, 3, 4)	A monitor picture Paper hats A play (T1→T2) (T1→T2, 3, 4)
15	さんざん悪口を言わ れた三人	Hey! That's not a good hat. (T1→T2) Hum! (T1) Hey! Ugly hats! (T1→T2, 3, 4)	A monitor picture Paper hats A play (T1) (T1→T2) (T1 →T1, 2, 3)

No. 1 の発話を見てみると、絵本の絵が大きなモニターに提示され、教師は紙製の帽子をかぶり寸劇を演じている。T3 から T2 へ “cool hat,” T4 から T2 & T3 へ、“Hey, guys! Cool hat!” T4 から T3 へ“Oh, nice hat!” T3 から T4 へ“Your hat is nice! Very pretty!” と会話をしながら演じている。（*以後、教師は必ずモニターの絵が提示する場面を演じる。このとき、4人の教師は15場面とも同じ帽子を被りながら、同じ役を通して演じていた。）

“Cool hat!” “Oh, nice hat!” “Your hat is nice! Very pretty!” の発話の中にある “hat” の言語による input と、絵や教師が被っていた紙製の帽子の視覚的な input から “hat” が「帽子」の意味だと気づき、理解へとつながっている。

“Your hat is nice! Very pretty!” にある “Your” の言語による input と、T3 が

T4 が被っている帽子を示しながら会話しているところや絵という視覚的 input から “You” が「君」の意味だと気づき、理解している。

また、“cool” “nice” “pretty” という形容詞についても、“cool hat” “nice hat” “Your hat is nice! Very pretty!”と言語での input が教師の表情やイントネーションにより肯定的なイメージとつながり、絵の雰囲気もあわせて、「格好いい」「いい」「すてき」という意味だと気づき、理解につながっている。

このことから、目標言語と絵などの視覚的材料が同時に input として与えられると学習者の気づきがなされることが分かる。

B 小学校では、言語に対する気づきを経た児童の反応（発話）が 9 例見られた。それぞれに対する input を辿ってみると、どの反応にも読み聞かせのみではなく、紙人形を用いての読み聞かせがなされていた（表 3）。

表 3 B 小学校における児童の発話と input

No	児童の発話	児童の発話を引き出した input	
		言語	視覚的要素
1	え？ 嫌いになったの？	T3 (narration): Achilles likes banana very much. Every morning Achilles eat banana. T3 : But, one morning, Achilles don't eat banana. T1(Mama) : Achilles, T4 (Achilles) : Yes? T1 : Do you want banana? T4 : Banana? No, I don't. T1 : Umm...?	Stick puppets ・ Achilles ・ Mama crocodile A picture card ・ bananas
2	お母さんのわにと、 Mommy が、…のわ にに、何が好きって 聞いてた。	T1 : Achilles, what would you like? T4 : I'd like...	Stick puppets ・ Achilles ・ Mama crocodile
3	ええと、アキレス？	T1 : This is Achilles. T3 : Achilles likes banana very much. Every morning Achilles eat banana. T2 (Papa) : Achilles! T4 : Yes?	Stick puppets ・ Achilles ・ Papa crocodile ・ Mama crocodile Picture cards

		<p>T2 : Achilles, do you want donuts? T2 : Achilles, do you want cake? T1 : Achilles. T4 : Yes? T2 : Achilles. T4 : Yes? T1 : Achilles, what would you like?</p>	<ul style="list-style-type: none"> • bananas • donuts • cake
4	<p>何か好き嫌が多いから、これ食べ、これ食べ、食べ食べ食べ食べ、これ嫌い、これ嫌い、嫌いな、いやだ、いやだ、いやだと全部嫌いだから。。。</p>	<p>T1 : Achilles, T4 : Yes? T1 : Do you want banana? T4 : Banana? No, I don't. T1 : Umm...? T2 : Do you want sausage? T4 : Sausage? あ、No, I don't. T1 : Do you want salad? T4 : Salad? No, I don't. T2 : Achilles, do you want donuts? T4 : No, I don't. T1 : Do you want sandwich? T4 : Hum...No, I don't. T2 : Achilles, do you want cake? T4 : Cake. No, I don't. T1 : Would you want ice cream? T4 : Ice cream...Nooooo. T2 : Would you like ramen? T4 : Ramen, oh...No, I don't. T1 : Would you like sushi?</p>	<p>Stick puppets</p> <ul style="list-style-type: none"> • Achilles • Papa crocodile • Mama crocodile <p>Picture cards</p> <ul style="list-style-type: none"> • bananas • sausages • salad • donuts • sandwiches • cakes • ice creams • ramen • sushi
5	<p>アキレスは、毎日バナナを食べてたけど、ある日、何か食べ物が全部嫌いになった。</p>	<p>T3 : But, one morning, Achilles don't eat banana. T1 : Do you want banana? T4 : Banana? No, I don't. T2 : Do you want sausage? T4 : Sausage? あ、No, I don't. T1 : Do you want salada?</p>	<p>Stick puppets</p> <ul style="list-style-type: none"> • Achilles • Papa crocodile • Mama crocodile <p>Picture cards</p> <ul style="list-style-type: none"> • bananas

		<p>T4 : Salad? No, I don't.</p> <p>T2 : Achilles, do you want donuts?</p> <p>T4 : No, I don't.</p> <p>T1 : Do you want sandwich?</p> <p>T4 : Hum...No, I don't.</p> <p>T2 : Achilles, do you want cake?</p> <p>T4 : Cake. No, I don't.</p> <p>T1 : Would you want ice cream?</p> <p>T4 : Ice cream...Nooooo.</p> <p>T2 : Would you like ramen?</p> <p>T4 : Ramen, oh...No, I don't.</p> <p>T1 : Would you like sushi?</p> <p>T4 : Sushi...Umm...No...</p>	<ul style="list-style-type: none"> • sausages • salad • sandwiches • cakes • ice creams • ramen • sushi
6	<p>んと、毎朝バナナ食べ続けていて、んとも、バナナが嫌いになったから、お母さんたちがこれ食べたらって言ったけど、これいらねーってなって、ま、その繰り返しで、最後にお母さんが、んじゃ何が食べたいのと聞いて、</p>	<p>T3 : Every morning Achilles eat banana.</p> <p>T3 : But, one morning, Achilles don't eat banana.</p> <p>T1 : Do you want banana?</p> <p>T4 : Banana? No, I don't.</p> <p>T2 : Do you want sausage?</p> <p>T4 : Sausage? あ、No, I don't.</p> <p>T1 : Do you want salada?</p> <p>T4 : Salad? No, I don't.</p> <p>T2 : Achilles, do you want donuts?</p> <p>T4 : No, I don't.</p> <p>T1 : Do you want sandwich?</p> <p>T4 : Hum...No, I don't.</p> <p>T2 : Achilles, do you want cake?</p> <p>T4 : Cake. No, I don't.</p> <p>T1 : Would you want ice cream?</p> <p>T4 : Ice cream...Nooooo.</p> <p>T2 : Would you like ramen?</p> <p>T4 : Ramen, oh...No, I don't.</p> <p>T1 : Would you like sushi?</p> <p>T4 : Sushi...Umm...No...</p>	<p>Stick puppets</p> <ul style="list-style-type: none"> • Achilles • Papa crocodile • Mama crocodile <p>Picture cards</p> <ul style="list-style-type: none"> • bananas • sausages • salad • donuts • sandwiches • cakes • ice creams • ramen • sushi

		T1 : Achilles, what would you like?	
7	でかくなるの？	I have to...I have to grow bigger.	T1 A story illustrated with picture cards
8	子どもが…食えないから？	T1 : I eat a lot of banana and I grow bigger to eat a child.	T1 A story illustrated with picture cards
9	バナナを食って鍛えようと思った。	T1 : I eat a lot of banana and I grow bigger to eat a child.	T1 A story illustrated with picture cards

B校の最初の児童の発話を表3から拾ってみると、その時、教師は紙人形を使った演技をし、その中で、T3が“Achilles likes banana very much. Every morning Achilles eat banana.”, “But, one morning, Achilles don’t eat banana.”と言い、T1が“Do you want banana?”と尋ね、T4が“Banana? No, I don’t.”と応じるやりとり (interaction) がある。

“Achilles likes banana very much. Every morning Achilles eat banana.”の“Achilles likes banana very much”という言語によるinputと、紙人形、絵カードによる視覚的inputから、児童はアキレスがバナナを好きであることに気づき、“Achilles don’t eat banana.”や“Do you want banana?”に対する“Banana? No, I don’t.”という否定詞を使用した言語によるinputと、紙人形、絵カードによる視覚的材料inputから、アキレスがバナナを嫌いになったと気づいている。また、否定詞が肯定文の後に比較という手法で提示されていることや、教師のやりとり (interaction) によって示されていることもこの新しい言語形式の理解を容易にしたと思われる。

しかし、発話全体を通して見てみると、「子どもの成長」という物語のメッセージはB小学校では十分に理解されていなかった。授業の目的として、A小学校では児童が絵本のメッセージを受け取ることが目指されていたが、B小学校では言語の形式が目標であり、絵本のメッセージは授業者自身が目指していなかったことを反映していると思われる。

4.2 pre-storytelling 段階での指導法

A小学校とB小学校の授業を分節（意味と活動のかたまり）に分け、

pre-storytelling の段階を割り出し、2つの授業における pre-storytelling を詳しく分析した。

表4 A 小学校の授業の分節

Unit	Time	Intentions	Activities	Teaching Materials
1	0'00 ~ 2'30	<ul style="list-style-type: none"> Make students speak English 	Greet the HRT in English	The utterance by T1=④
2	2'30 ~ 4'28	<ul style="list-style-type: none"> Make students amazed and interested in guest teachers "Friends" make it easy for students. 	<ul style="list-style-type: none"> Get students to meet the 3 people coming into the class as guest teachers Listen to the introduction of guest teachers as friends of the T1 by T1 	The utterance by T2, T3, T4 =①
3	4'28 ~ 5'02	<ul style="list-style-type: none"> Make students use English through song. Students have familiarized this song. 	Sing "Hello Song" with the CD	CD=①④
4	5'02 ~ 9'23	<ul style="list-style-type: none"> Introduce students to guest teachers because it was their first meeting Make them interested in the guest teachers by their clothes and think what they will do in class. Make them experience a conversation with guest teachers in English. Help students understand the content of the story. 	<ul style="list-style-type: none"> Pre-Storytelling Listen to the extolled introduction about the clothes of the HRT and guest teachers in English Answer whether they like the hat or not in English. 	Clothes of T1, T2, T3, T4 =①②③

5	9'23 ~ 23'26	<ul style="list-style-type: none"> · Help students see the pictures by showing them on a wide monitor. · Make students talk about their impressions on the story. 	<ul style="list-style-type: none"> · Storytelling · Listen to the story "Hats" and watch a play put on by the teachers. · Think as one of the characters in "Hats." · Guess what the next scene will be with their neighbors · Listen to the remaining story and watching the teachers · Speak their impressions about the story. 	Picture book (Picture cards) =①② A play Paper hats =②③ Content=② Consulting the next scene =①
6	23'26 ~ 31'59	Make students talk about colors and clothes because the T1 would like students to involve it while telling their impressions of the story.	<ul style="list-style-type: none"> · Post-Storytelling · Tell their impressions of the story (including the play) of "Hats" · Tell the English words of the Story (including the play) of "Hats" and the Pre-Storytelling. 	Picture book =③④ Paper hats =④ Clothes of T1, T2, T3, T4 =④
7	31'59 ~ 38'28	Let students know what they will study in the next class	<ul style="list-style-type: none"> · Announce that in the next class Lesson 5 of the "English Note" will be taught. · Listen to the impressions of the guest teachers 	The utterance by T1, T2, T3, T4 =①

※teaching material にある①～④は、1.4 教材の機能 にある長谷川(2010)の分類を示している。

表5 B 小学校の授業の分節

Unit	Time	Intentions	Activities	Teaching Materials
1	0'00 ~	Make students speak in English	Greet T1, T2, T3 and T4 in English	The utterance by

	1'15			T1, T2, T3, T4 =④
2	1'15 ~3'54	Make two of the students speak in English with other students listening to their conversation.	Interview a boy, a girl and one of the teachers.	T1 and 2 students =③④
3	3'54 ~4'35	Let students know who the guest teachers are in the class.	Listen to the self introductions of the T2, T3 and T4.	The utterance by T2, T3, T4 =①
4	4'35 ~5'42	<ul style="list-style-type: none"> · Let students know who the characters are in the picture book · Make students interested in the story. 	<ul style="list-style-type: none"> · Pre-Storytelling · Listen to the introduction of the characters of the picture book. 	T1 =③ Paper puppets =①②
5	5'42 ~13'13	<ul style="list-style-type: none"> · Introduce students to the expression, "Would you like~?" and "I'd like~" that appears in the lesson of <i>English Note</i>. · Help students understand the content of the story 	<ul style="list-style-type: none"> · Storytelling 1 · Listen to the storytelling: "I'd Really Like To Eat A Child." · Watch a play using paper puppets. · Tell what the story was from the start to a certain scene. · Try to listen to what the mommy crocodile told Achilles. 	T1, T2, T3, T4 =③ Paper puppets =② Picture cards =②
6	13'13 ~18'33	<ul style="list-style-type: none"> · Let students know what the class's goal is. · Make students watch a demonstration to know what they will do. · Make students do the drill so they can speak the English 	<ul style="list-style-type: none"> · To know what the day's goal is. · Watch the demonstration of the teachers. · Drill the minimal pair sentence task. 	Black board =③ Picture cards =③ HRT and guest teachers

		expressions.		=④
7	18'33 ~33'00	<ul style="list-style-type: none"> · Make students watch a demonstration to know what they will do. · Make students interested in the picture book by playing a game. · Make students talk with classmates and guest teachers. 	<ul style="list-style-type: none"> · Watch the demonstration of how to play the pyramid game which is an interview game. · Play the pyramid game twice. 	HRT and Guest teachers =③ A handout =③④ Picture cards =③④
8	33'00 ~43'22	<ul style="list-style-type: none"> · Make students think what Achilles wants to eat. · Make students interview to classmates their predict. 	<ul style="list-style-type: none"> · Think what Achilles would like to eat. · Interview classmates about what they think that Achilles wants to eat. 	HRT and Guest teachers =③ Paper puppets=② Contents=② Interview=①
9	43'22 ~45'35	<ul style="list-style-type: none"> · Tell the rest of the story to give students Achilles' answers. 	<ul style="list-style-type: none"> · Storytelling 2 · Listen to the story "I'd Really Like To Eat A Child" with picture cards. 	T1 =③ Paper puppets=②
10	45'35 ~46'17	<ul style="list-style-type: none"> · Find whether students understood what the story was. 	<ul style="list-style-type: none"> · Make students think and explain why Achilles started to eat bananas again. 	Picture book =③
11	46'17 ~52'16	<ul style="list-style-type: none"> · Make students write down their self evaluation. · Make students appreciate teachers. 	<ul style="list-style-type: none"> · Write down self evaluation sheet. · Greet to HRT and guest teachers in English 	T1=③ Self evaluation sheet=③

※teaching material にある①～④は、1.4 教材の機能 にある長谷川(2010)の分類を示している。

A 小学校では、表4に示すように、pre-storytelling は第4分節で行われており、4分21秒費やされている。指導意図は、「ゲスト教師の紹介」や「教師らの着ている様々な服に興味を持たせる」「ゲスト教師と会話をする」「授業の内容を紹介する」と四つあった。言い換えると、この時間の活動の目的は、意味のある世界の中で本時に扱う言語を導入することだった。その後、storytelling の分節で、児童の言語に対する気づきと理解が15例あった(表2)。

B 小学校は、pre-storytelling はA 小学校と同じく第4分節に見られるが、所要時間は1分7秒に過ぎない。指導意図は絵本の登場人物を知らせることだった。児童には、storytelling1を通して6つ、storytelling 2を通して3つ、合計9例の言語に対する気づきが見られた(表3)。

これらのことから、pre-storytelling は言語への気づきを促進する有用な活動であり、また、目標とする言語・言語項目を意味のあるものとして扱うことが言語に対する気づきをさらに促進すると考えられる。

4.3 教材の機能

2つの授業の各分節が長谷川(2010)の示す4つの教材の機能のうちどの機能を持っているかを分節して、授業記録(表4,5)をもとに分類し、それらの所要時間を表6表7にまとめた。

表6 A 小学校における英語絵本の機能

総授業時間：38'28

機能	回数	総合時間
①学習の動機づけや意欲喚起の機能	6	26'25
②直観やイメージを引き起こす機能	5	18'24
③理解の機能	4	12'18
④練習や応用の機能	5	6'33

表7 B 小学校における英語絵本の機能

総授業時間：52'16

機能	回数	総合時間
①学習の動機づけや意欲喚起の機能	3	4'01
②直観やイメージを引き起こす機能	6	23'13
③理解の機能	12	50'20
④練習や応用の機能	5	22'41

※同時に複数の機能を持つことがあった。

表6と表7から、英語絵本は長谷川が述べる教材の4つの機能すべてを持っていることがわかる。しかし、授業においてどの機能を発揮させるかは、授業者の教材使用の意図によって異なっている。A小学校では、主に学習の意欲付けに用いられているのに対し、B小学校では、主に読み聞かせの内容や言語・活動方法などの理解に用いられている。

A小学校の児童に言語に対する気づきや絵本のメッセージの理解がより多く見られたことから、教師が教材に学習の動機づけや意欲喚起機能を持たせて指導することが、英語絵本を使った授業において児童の言語に対する気づきや理解を促進するのに有効であると考えられる。

6. 結論

本研究では、次のことが分かった。

英語絵本 "Hats!" と "I'd Really Like To Eat A Child" を用いた英語活動では、

- ① 読み聞かせと視覚要素（絵や教師の演技）がセットでinputされることにより、言語に対する気づきが促進された。
- ② pre-storytelling 活動は言語への気づきを促進する有効な活動である。また、絵本で扱われている言語を意味のある文脈の中で扱うことによって、storytelling において言語に対する気づきがさらに促進された。
- ③ 英語絵本の教材としての機能は、教師の指導意図を反映し、教師が教材に持たせる機能が異なると、言語に対する気づきは異なる。学習の動機づけや意欲喚起の機能を持たせることは、言語への気づきや理解の促進に有効であった。

7. 今後に向けて

本研究は、いくつかの限界を有している。まず、サンプルが二つと少なく、結果を直接一般化することが困難であり、探求的な研究である。次に、研究した学年、児童数、扱った絵本にばらつきがあるため、資料集面で今後はより統制を効かせる必要がある。そして、今回は解釈の判定者が複数でなかったが、複数で判定にあたると、信頼度を高めることができる。さらに、授業の記録の方法にビデオを用い、文字起こしを行い、出来る限り多くの児童の発話を記録する努力をしたが、すべての児童の発話を分析対象とすることができなかった。

しかし、平成23年度小学校高学年での外国語（主に英語）活動の完全実施を目前にして、実際の授業に活用できる示唆を得ることができた。より多くの英語絵本を使った実践、より計画的な手続きを活用した研究を継続することにより、

さらに英語活動を効果的にする手法・視点を研究する道が開けていると考える。

(注) 授業において発話された英語は、そのまま表記した。

参考文献

- Hall J. (2009). *Ideas for using English picture books for the new foreign languages activities in Japanese elementary schools*. Bulletin of English Education Iwate University No. 11, pp.27-45
- Moran, Patric R.. (2001). *Teaching Culture PERSPECTIVE IN PRACTICE*. Boston. HEINLE & HEINLE
- エリス, G. & ブルースター, J. (1991). 『先生！英語のお話を聞かせて！』. 松香洋子監訳/八田玄二・加藤佳子訳, 玉川大学出版部 (翻訳版, 2008) .
- 白畑知彦・富田祐一・村野井仁・若林茂則 (2005). 『英語教育用語辞典 (第6刷)』. 大修館書店.
- 直山木綿子 (2009). 小学校外国語活動のQ&A. 『英語教育 (9月号)』 pp.12-13. 大修館書店.
- 長谷川榮. (2010). 教材の機能の究明. 日本教材学会理論部会研究発表.
- 松川禮子, 大城賢 (2008). 『小学校外国語活動実践マニュアル』. 旺文社.
- 村野井仁, 千葉元信, 畑中孝實(2001). 『実践的英語科教育法 総合的コミュニケーション能力を育てる指導』第7刷. 成美堂.
- 山崎友子 (2009) . 英語絵本の選定とその活用 : 国際理解教育のための英語絵本の開発から. 『岩手大学英語教育論集』 No. 11, pp.46-55.

(岩手大学大学院教育学研究科教科教育専攻英語教育コース)